MITSUBISHI ELECTRIC

お願い
適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

三菱電機エアコン別売部品 パワー脱臭フィルター PAC-KH・PCF

取付説明書

WT03835X06

安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

・お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
・お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店又は専門業者に依頼してください。

●ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。

●据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。

●接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。

●電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。

加湿器等の別売品は必ず、当社指定の製品を使用してください。

●また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けをする前に

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。

●食品の品質低下等の原因になります。

病院、通信事業所などに据付される場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。

●インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。

●油・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けないでください。

●湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠ 注意

電気配線は張力がかからないように配線工事をしてください。

●断線したり、発熱や火災の原因になります。

梱包材の処理は確実に行ってください。

製品の運搬には、十分注意してください。

●20kg以上の製品の運搬は、１人でしないでください。
●製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
●熱交換器フィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
●包装用のポリフクロで子供が遊ばないように、破いてから破棄してください。窒息事故等の原因になります。

試運転をする前に

⚠ 警告

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

●感電の原因になります。

エアフィルターを外したまま運転しないでください。

●内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

パネルやガードを外したまま運転しないでください。

●機器や回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電によりケガの原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

●必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

● 本品を組込む場合は必ず別売の多機能ケースメントもしくはスペーサーを使用してください。
また、多機能ケースメント、スペーサーの取付説明書も併せて参照ください。（多機能ケースメント、スペーサーの取付けおよび本品の組込みに必要となります。）

● ケガのおそれがありますので製品内の金属部エッジ等に素手で触れないようにしてください。

1. 部品構成

この別売部品は下記部品により構成されていますので御確認ください。また、取付けには別売の多機能ケースメントもしくはスペーサーが必要です。

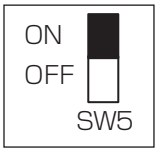
形　名	パワー脱臭フィルター	適用多機能ケースメント、スペーサー	適 用 機 種
PAC-KH01PCF	2個	PAC-KH71・81TB	PLFY-P22～45 PL-RP40～56LA6,7 PL-RP40LA8以降
	4個	PAC-KH74・84TB	PLFY-P80～112 PL-RP112～160
PAC-KH03PCF	2個	PAC-KH73・83TB	PLFY-P56～71 PL-RP63～80LA6,7 PL-RP45～80LA8以降

2. 取付要領

※パワー脱臭フィルターを取付ける前にパネルにロングライフフィルターが取付けられている事を確認してください。

本体形名PLFYの場合

パワー脱臭フィルターを取付ける前に本体制御箱内の基板上ディップスイッチSW5をONにしてください。



本体形名PL-RP40～80LA6,7、PL-RP112～160の場合

本体のリモコンによりモード番号を“10”, 設定番号を“2”に設定してください。

本体形名PL-RP40～80LA8以降の場合

本体のリモコンによりモード番号“08”または“10”を選択し、下表により設定番号を変更してください。
設定の手順、操作方法はリモコンに付属の説明書に従ってください。

モード番号		08（風量）	10（オプション組込）
設定番号	パワー脱臭フィルターのみ	1	2
	吹き分けプレートと併用	3	2
	初期設定状態（工場出荷時）	2	1

（1）多機能ケースメントもしくはスペーサーが本体にしっかりと取付けられているか確認してください。
次にフィルター押え金具が多機能ケースメントもしくはスペーサーの正しい位置に取付けられているか確認してください。（貼付けてあるメイバンを参照してください。）
①フィルター押え金具の先端部を上に向けてください。（図１、拡大図１－A）

（2）パワー脱臭フィルターを多機能ケースメントもしくはスペーサーに取付けてください。（図2）

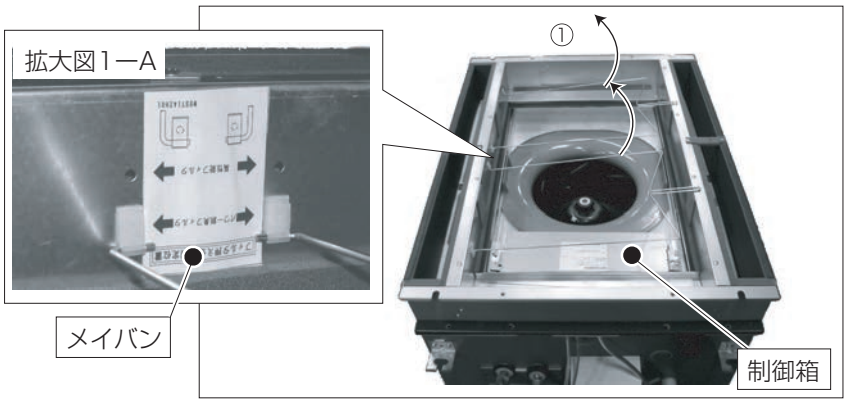


図1

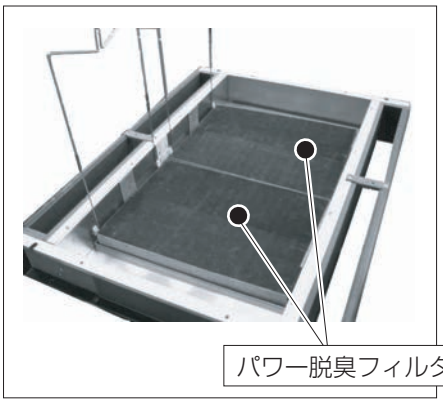


図2

（3）フィルター押え金具の先端部を②引っ張り、内枠（板金）に貼付けてあるシール材のスリット部に③差込み固定してください。（図3、拡大図3－A）

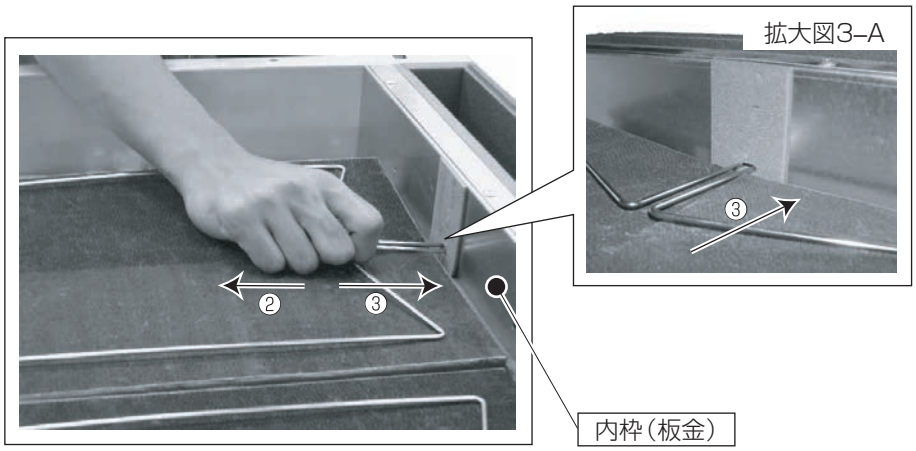


図3

3. フィルター交換時の注意事項

・必ず電源を切り、運転停止状態で交換を行ってください。内部のファンが回転したまま作業するとケガの原因になります。
・フィルターを取外すときに、取扱いによってはフィルター押え金具が外れるおそれがありますので、金具に無理な力を加えないでください。
・フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏み台、脚立に乗って行うときは、転倒しないように注意してください。
・フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

お　客　様　へ　の　説　明

●取付説明書の手順でわかりやすく説明してください。●この取付説明書は据付後お客様にお渡しください。

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

WT03835X06